

第5回スマートエネルギー推進会議

会 議 録

平成27年4月22日（水）午後3時 開会
会場 新潟市役所3階 対策室1

第5回スマートエネルギー推進会議 会議録

日時 平成27年4月22日(水)

午後3時00分から

会場 新潟市役所3階 対策室1

■出席委員 大石委員長、菅原委員、石黒委員、田村委員

■欠席委員

■事務局 金内環境政策課長、小泉スマートエネルギー推進室長
スマートエネルギー推進室 川崎係長、真柄主査、森主事
㈱建設技術研究所 林G L 齋藤主任

1. 開会挨拶(環境政策課長)

2. 議題

(1) 平成27年度 再生可能エネルギー等導入推進基金事業について

①事務局説明(省略)

②質疑応答・意見交換

(大石委員)

表のみかたですが、最初の3番目の表の整備費と充当費と若干右と左の金額が違いますが、この差は誰が埋めるのですか？

(川崎係長)

市の一般財源で埋めます。この差は国の補助金である基金では補助対象に制限があって、啓発用のモニターやデータ抽出用のパソコン自体が対象外になっておりますので、この物品の費用と設置の費用は子供たちへの環境教育の面もあるので、モニターは必須であると考えております。ですので、そこは一般財源で補う形でやらせていただいて差が出ております。中之口中学校については、新築に合わせて整備を行い、電気工事費一式に含めて発注を行いましたので、対象部分のみ抽出を行いましたので差が出ないようにしております。

(大石委員)

かっこ書きについては。

(川崎係長)

着手がH25年となっており、一部前払い金が発生しておりますので、括弧書きになっております。

(大石委員)

出力については常時使っているのか、非常時のみなのですか。

売電はしているのでしょうか。

(川崎係長)

補助金は売電を認めておりません。加えて10kWですと学校で使い切れる程度なので基本的に自家消費をしております。

(大石委員)

データは取ってあるのですか。

(川崎係長)

環境省への報告の必要もありますので、パソコンでストックしております。まとめましたら次回報告させていただきます。

(大石委員)

4ページにある横に置いてあったり斜めにおいてあったりと雪がたくさんあったら発電しない様な形においてありますが、これはデータ集めのためでしょうか。

(川崎係長)

一つは設置コストの都合であり、架台を置くと高価であるのと、陸屋根の上に置いた場合、屋上防水の更新の必要があり、メンテナンス性の都合でこうしていますが、中之口中学校のように傾斜面に金具で止める場合は、防水の更新が20年は必要ないと考えておりますので、このように設置しております。

(大石委員)

データを集めるためではないのですね。

(川崎係長)

一見しますと雪が積もるように見えますが、データ集めのためではありません。

(大石委員)

横においても80パーセントは発電すると聞いたことがあります、どうでしょうか。

(川崎係長)

ある程度たってデータがまとめましたら報告させていただきます。

(大石委員)

11枚目の自費と書いてありますが、市が払うのですか、区が払うのですか。

(川崎委員)

市の税金で払います。

(田村委員)

防災利用についての表現の方法ですが、新潟市で言う一時(いつとき)避難場所(公園など)、二次(宿泊もでき、継続していただける)避難所、高齢者施設といった福祉避難所にも入れていますので、避難全般を網羅的に支えていると表現したほうが、アピールになるのではない

でしょうか。避難だけでなく、電気が着くということは治安維持にも役に立つ、停電でも公園に電気がつく。電池があることは防災拠点にも安心と、避難と治安維持と防災拠点で利用できる。

実際にこの電気をどうつかっていくのかの運用については事例がないため、通信についたらどれくらい使うなど、印刷などに余計に使ってしまったなどといった事例がありますので、その運用をやってみていただくといいのかな、と。実際の災害の時があればいいのですが、総合防災訓練等の際にどこかの小学校で停電実践を行って事例としてマニュアルを作り、宣伝をすることで環境省もよろこぶし、市も達成感もしますし、防災のほうもありがたい。

教育にも活用してるとのことですので、合わせて活用してもらえるとありがたい。何か設置してあるよね、とならずに、もっと設置したほうがいいよねとなって欲しいです。

(川崎係長)

実際に利用することは大事かと思えますし、訓練の中で実際に使うという話がありますので、防災部局と相談をして実際に利用して、マニュアルが作れば、配ることで有効活用ができるかと思えます。

(田村委員)

全国発信をしていいと思います。このような話は医療の現場ではとても重宝されます。取材等も入れば広報としてもいいと思います。

(小泉室長)

蓄電池10kWhでどれくらいのもので動かせるのかを以前にお示しさせていただきましたが、今回までのお示しできなかったことはこちらとしても反省点でありますので、施設が増えたところでどのように使うのかを理解してもらうことは必要になりますので、早急にできれば今年度中にまとめて次回ご報告できればと思っております。

(菅原委員)

大きい蓄電池より、電源車等小さいものを分散して設置するのはいかがでしょうか。東北電力さんと協力して

(川崎委員)

全体の中では設置個所が少ないので、機動的に使えることは重要なので、基金事業とは別に検討をしていきたいと思えます。

(菅原委員)

さまざまな災害に合わせてハザードマップ等ありますが、避難所ごとに施設充足率を出して、長期計画を決めて、各区の学校に重点的に配分をするといった数値化をすれば、予算をつける際の資料としていいのではないのでしょうか。

(川崎係長)

防災部局と話をして災害時の対応については考えていきたいと思えます。

(小泉室長)

電源車ですが、東北電力さんが持っているような大規模な形では維持管理の面も含めて難しいとおもいますので、規模は小さいですが、電気自動車を推進していますので、どこの施設とマッチングしていくのかを検討して進めていきたいと思っていますので、必要などころには1台と言わず集中させれば充足できると思いますので、通常も使える電気自動車の対応を考えております。

(大石委員)

3万人の避難可能人数とありますが、政令市としての数値の目標値はあるのでしょうか。

(川崎委員)

現時点ではありません。

(田村委員)

備蓄等を考えなければなりませんので、昼1枚に一人と計算しての人数、廊下等は考慮しない数値になっています。が、考えてみることは悪くないと思います。

(大石委員)

このマップは公表しているのでしょうか。

(川崎係長)

公表はしていません。避難所のマップはありますが、蓄電池等の記載はありません。

(大石委員)

この会議の資料は公開されるのですか。

(川崎委員)

されます。

(大石委員)

それなら公表してもいいのではないのでしょうか。

(小泉室長)

検討いたしますが、地区ごとの公平性を考えますと難しいかと思えます。

(川崎係長)

仙台市など、全小学校に導入している市町村もあります。

(金内課長)

市としての将来の方針が決まっておりませんが実情です。

(川崎係長)

学校だけで180校程度あります。整備だけでなくメンテナンスや更新の必要性がありますので、着実に進めたいと思います。

(石黒委員)

電源車の話がありましたが、被災していない県から融通を行い、加えて他社からの応援を考

えて対応することになります。全部を救うことは非現実的ですので、行政と連携しながら、ニーズを把握して対応させていただくことにご理解を願います。全部をカバーしようとしますと、電気料金に跳ね返りますのでご理解願います。

(菅原委員)

整備などの人件費は含まれているのでしょうか。

(川崎係長)

単に太陽光と蓄電池のみですと必要ありません。ただし、鳥屋野小学校や万代高校等、施設の規模によっては電気技術主任者が必要な場合がありますが、今回の表には入れておりません。

(2) 地域エネルギーマネジメントシステム実現可能性調査について (中間報告)

①事務局説明 (省略)

②質疑応答・意見交換

(大石委員)

3番目のスライドで運用開始時期がありますが、これについてはどうでしょうか。

(森主事)

予定ですので現時点では未定です。

(大石委員)

順位づけがされて一番が選ばれておりますがこれはここで進めるということでしょうか。

(森主事)

今回は地域を絞るために順位付けをしている次第です。

(小泉室長)

今回は面的なエネルギーマネジメントをしたいと考えております。

単に束ねて電気を融通し合うだけでなく、自己電源を持ちながら、最大限活用しながら防災性をある程度確保していくのが行政がやる意味であると考えております。

できればガスコジェネについては取り組んでいきたい設備であります。

合わせて、僭越ではありますが、大学さんではたくさんの棟をお持ちだと思いますが、一括受電をして電気を回す仕組み、エネルギーマネジメントの視点があるのでしょうか。ありましたら教えていただきたい。環境省の補助メニューに大学でのエネルギーマネジメントの調査費が付くといったものがありまして、大学さんのほうが経験を積まれているのかなと思っておりませんがいかがでしょうか。

(大石委員)

電気代を少なくしようという話だけで特にありません。

(菅原委員)

新潟大はE S C O事業をやっているという話は聞いております。プールもありますが、冬は使っていません。熱源があれば冬もつかえるとは思いますが、屋根等の投資が必要になります。

(小泉室長)

想定して蓄電池も小さいので、どれだけ効果があるのか見えてこないのですが、もう少し具体的に検討する中で容量を増やすとか、コジェネの容量を増やすのも検討していきたいと考えていますが、今回は横並びの検討です。

(大石委員)

ロードマップがありますが、この検討で走る可能性はあるのですか。

(小泉係長)

この中で、この検討会でご意見を頂戴しながら一番事業性の可能性があるところで事業化の検討を進めていきたいと考えております。

(田村委員)

利用人口はどうでしょうか。

(森主事)

利用者数については表中にございます。

(田村委員)

この資料が事業採算性の表と考えていいのでしょうか。

環境性の検討がわかりづらい、全体的に資料としてわかりづらいと思います。

(小泉委員)

今回は中間報告ですので、今後の報告では書式等改めさせていただきます。

(菅原委員)

資料7の年間の消費熱量のデータは純粹に熱を使ったものでしょうか。

(㈱建設技術 林GL)

ガスの使用量です。

(菅原委員)

将来的に機器の置き換えのE S C O事業とのリンクで実際の導入は決めていったほうがいいのではないのでしょうか。

(小泉室長)

場所を絞り込む中で、個別の設備の検討することも含めると困難が伴いますので、今後考えていきます。

(田村委員)

基本設計は4つのところで進めるのでしょうか。

(小泉室長)

一つだけです。順位が入っておりますが、中間時点の順位ですので、今後詳細に精査する中で対象は決めてまいります。

(菅原委員)

BEMSに300万円のケースと600万円のケースがありますが、違いは为什么呢。

(㈱建設技術 林GL)

単にモニターする場合と制御を入れる場合の違いがあります。

(菅原委員)

施設の種類にもよりますが、力率改善などにより基本料金の低下も考えてはいいのではないのでしょうか。

(石黒委員)

IとIIのBEMSの数値の節電効果が同じですが、Iは見える化のみで節電努力をしなければならぬ。本当に同じという1割カットという数字の根拠はどうか。

(㈱建設技術 林GL)

今回はモデルを当てはめるということで、一律にしております。

(田村委員)

防災などの各項目の重さを考えないといけないと思いますが。

(小泉室長)

今後の検討の中で改善をさせていただきます。

(大石委員)

順位づけがしてある。資料2の18ページについては非公開としたほうがいいのではないのでしょうか。

(小泉委員)

最終報告としてまとまった際に改めて報告させていただきます。

3. 連絡事項等

4. 閉会